

みどり



横浜の豊かな海を未来へ

海の公園 SDGs!

横浜市緑の協会は、SDGs達成に向けた様々な取組みを推進しています。海の公園では海の環境を考えながら次の取組みを実施し、SDGsの達成に向けて活動しています。

<p>4 質の高い教育をみんなに 動物園・植物園などによる多様な教育普及</p>	<p>13 気候変動に具体的な対策を 環境負荷の低減に向けた取組</p>
<p>11 住み続けられるまちづくりを 市民参加と地域協働による地域の活性化 誰もが安全・安心・快適に利用できる施設の管理運営</p>	<p>14 海の豊かさを守ろう 生物多様性の保全への貢献</p>

「横浜市緑の協会SDGs達成に向けた取組み」の詳細は、ホームページをご覧ください。

横浜市緑の協会 SDGs

アマモ場再生の活動

アマモは、海中で生育する種子植物で、花を咲かせ種を付けて増える「海草」です。海の公園には、このアマモが群生する「アマモ場」があります。アマモ場は「海のゆりかご」と呼ばれ、魚や貝など多様な生物の棲み処（すみか）になっています。

また、アマモは海域の二酸化炭素(CO₂)を吸収・固定し水質を改善するなど、海や地球の環境を守るためにとても大切な役割を果たしているため、海の公園では、アマモ場を未来に残し広げていくための市民活動を支援しています。



夏だけじゃない！冬も楽しいイベント情報

かき小屋 - 冬のBBQ! -

2023 11/1

2024 3/31

海の公園冬の風物詩「かき小屋」は、冬限定で開設しています。岩手県三陸山田湾の新鮮なカキや三陸産のホタテの他、海産物や肉類など多種ご用意しています。かき小屋で冬のバーベキューをお楽しみください。(12/31(日)は18時閉店、1/1(月)~1/4(木)は休業)

- 営業時間 月～木 11:00～16:00 (L.O. 15:30)
金土日祝・祝前 11:00～21:00 (L.O. 20:30)
- 客席数 屋内(10卓) 屋外(15卓) 屋外ベトナム(5卓)
- 支払方法 現金・クレジット・交通系電子マネー可



詳しくはかき小屋ホームページをご覧ください。

海の公園かき小屋



どんど焼き

2024 1/20

金沢区の冬の風物詩といえば「どんど焼き」。正月飾りや門松、しめなわ、書初めを持ち寄り、公園の砂浜に備えたやぐらの「どんど」で焼く伝統行事です。



- 開催時間 10:00～15:00
※正月飾りなどのプラスチック・金具などは取り外し、当日10:00～12:30までに持参してください。

詳しくは横浜金沢観光協会ホームページをご覧ください。

横浜金沢観光協会 どんど焼き



海の環境を考える親子講座

海の公園の恵まれた自然環境を活かした体験を通じて、海の環境について楽しく学べる小学生向けの親子講座を、毎回様々なテーマで開催しています。(年間全10回)

過去の開催内容

<p>5月</p> <p>アサリやマテガイの採り方を学ぶ潮干狩り体験</p>	<p>7月</p> <p>カニや貝などの磯場の生きもの観察とタッチプールづくり</p>
<p>8月</p> <p>海の安全を守るライフセーバーの活動体験</p>	<p>9月</p> <p>園内の砂を使ったミニ砂像づくり体験</p>
<p>1月</p> <p>海の食育講座 新鮮な生海苔を使った海苔づくり体験</p>	<p>2月</p> <p>隣接する金沢漁港の見学 生きたアナゴにもタッチ!</p>

今後の開催予定については、海の公園ホームページをご覧ください。

- 対象 小学生の子と保護者8組
- 受講料 1回につき300円/人(保護者の方もかかります)
- 申込方法 海の公園管理センター(045-701-3450)に電話申込
申込み講座名・参加者名・学年・電話番号をお知らせください。
※先着順、各申込期間あり

海の公園

所在地 横浜市金沢区海の公園10番
アクセス シーサイドライン「海の公園南口」駅、「海の公園柴口」駅、または「八景島」駅からすぐ
駐車場 有料1,688台(内、臨時262台)
お問合せ先 海の公園管理センター 045-701-3450

横浜市海の公園



横浜の豊かな海を未来へ 海の公園SDGs!

海の公園は、金沢地先埋立事業の一環として整備され、昭和63(1988)年に開園した、横浜で唯一の海水浴場をもつ公園です。

海の環境については、近年、海水温の上昇やプラスチックゴミの増加など、海洋環境の変化による影響が懸念されています。海の公園での海ゴミやアオサ(海藻)の漂着、アサリの減少、南洋の魚の確認などは、その一端かもしれません。一方で、海の生態系にとって大切なアマモ場を増やす取組みや、ビーチクリーンなどの市民活動も盛んに行われ、市民の皆さまが海を直接体感できる海の公園は、単に楽しむだけではなく、こうした海の環境課題を考え、実践できる貴重な場所でもあります。

今回は、海の公園が取り組んでいるSDGs達成に向けた様々な活動をご紹介します。海の公園ではこうした取組みを通じ、海を親しみ大切に思う皆さまとともに、かけがえのない豊かで美しい横浜の海を未来へと引き継いでいきたいと願っています。

海ゴミとビーチクリーン活動

日常生活で欠かすことができなくなっているプラスチック。使い捨てられゴミとなり海へ流出・漂着し「海ゴミ」となる数は少なくありません。しかし、



海の公園ではボランティアで砂浜の清掃(ビーチクリーン)活動を行う個人や団体の方が年々増え、昨年度は約2,500人の皆さまが活動くださいました。海の公園の海浜は、こうした方々との協働で美しく保たれています。



ビーチクリーン活動にご協力いただける方には、**トンク 軍手 ビニール袋**の3点を貸出しています!
海の公園管理センター(045-701-3450)までお問合せください。



海の中を覗く水中ドローン

海の公園では、金沢区役所や金沢臨海部に立地する企業と連携し、普段は見ることができない海中の様子を、水中ドローンのリアルタイム映像で観察する「海中探検@海の公園」を、区内の小学生向けに実施しています。

また、この水中ドローン技術を使い、季節ごとの海底の状況を撮影する「水中環境調査」にも取り組んでいます。

水中ドローン



アマモ場を撮影!

冬の海はとっても澄んでいます!



海中探検の動画をYouTubeで配信中です!(金沢区役所作成)

横浜みどりアップ計画 [2019-2023]

4か年(2019-2022年度)の主な実績を報告します

横浜市は大都市でありながら、身近な場所に水や緑の環境があります。市では、緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を一部財源として活用しながら、「横浜みどりアップ計画 [2019-2023]」を推進しています。

4か年(2019-2022年度)に実施した事業の主な実績

横浜みどりアップ計画は次の3本の柱で進めています。



市民とともに次世代につなぐ森を育む

- 緑地保全制度による新規指定を進め 144.8haの樹林地を保全しました
- 市民が気軽に森の中に入り、森に親むることができるように、園路や柵などの整備を進めました (312か所)
- 市が管理する樹林地の安全を確保しながら、緑の機能が発揮されるような森づくりを進めました (樹林地 636か所、公園 150か所)



市民が身近に農を感じる場をつくる

- 市内の水田面積の約9割を保全しました (111.9ha)
- 様々なニーズに合わせた農園を開設しました (17.5ha)
- 市民が身近なところで地産地消を実感できるよう、直売所・青空市等の支援を行いました (196件)



市民が実感できる緑や花をつくる

- 公共施設や公園、保育園など、市民の身近な場所に緑を創出しました (保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出 168か所)
- 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくりと維持管理を推進しました (58か所)
- 緑や花を身近に感じる各区の取組を 18区で推進しました



横浜みどりアップ 葉っぴー



森づくり体験会 池辺市民の森 (都筑区)

詳しくは、ホームページをご覧ください。

横浜みどりアップ計画

※事業報告書は区役所などで閲覧もできます



お問合せ先：環境創造局みどりアップ推進課

TEL. 045(671) 2712 FAX. 045(224) 6627
E-MAIL : ks-midoriup@city.yokohama.jp

グリーン × エクスポ GREEN × EXPO 2027 通信 第3回

2023年10月2日から、カタール国ドーハにおいて「2023年ドーハ国際園芸博覧会」が開幕しました。テーマは「緑の砂漠、よりよい環境」。中東・北アフリカ地域で初の開催となり、横浜と同じA1クラス承認の国際園芸博覧会です。日本国出展において、GREEN×EXPO 2027をPRし、参加を呼び掛けています。世界各国の園芸技術が次は横浜に集結します。

【ドーハ国際園芸博覧会 開催期間】2023年10月2日～2024年3月28日



公式マスコットキャラクター制作中!

皆さまに愛される公式マスコットキャラクターを制作中です。2024年1月、候補3作品(予定)について意見募集を行う予定です。皆さまぜひご意見をお寄せください。詳しくは、公式ウェブサイトで発表します。
<https://expo2027yokohama.or.jp/about/mascot/>



基金だより

「よこはま緑の街づくり基金」は横浜市内の民有地の緑化を市民の皆さまの手によって進めるために市民・企業・団体等からの寄付を積み立て、その運用益で市民の皆さまの緑化活動を支援しています。

令和5年8月1日～令和5年10月31日に寄付をいただいた団体(順不同、敬称略)

寄付団体

株式会社旭広告社、あったかや、コマデリ、有限会社相澤良牧場、アートモービル株式会社、移動カフェ thanks milk、花やぐまち助成事業利用団体の皆さま、市内募金箱ご協力の皆さま

令和5年10月31日までの積み立て総額は2,703,099,597円です。

区役所等に募金箱を設置しています。



基金の果実(利息)は、市民の皆さまの緑化活動に活かされています。よこはま緑の街づくり基金にご協力をお願いします。(ご寄付は税制上の優遇措置が適用されます)

【緑化支援内容の一例】令和4年度実績

- 生垣 4軒 52.7m
- 記念植樹 1本
- 花苗 97,930鉢、球根 19,529球、種袋 4,760袋 (のべ1,077団体)

- 寄付金の振込先
横浜銀行本店 普通No.0381642
受取人：(公財)横浜市緑の協会
- お問合せ先
(公財)横浜市緑の協会 緑化推進課
TEL : 045-228-9470 FAX : 045-641-0821



季刊誌みどり アンケート実施中

